

経営比較分析表（令和6年度決算）

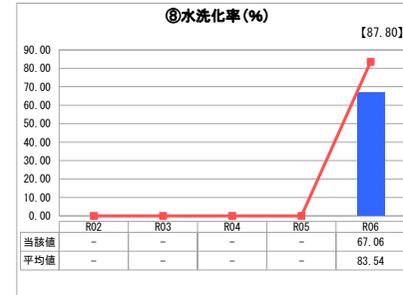
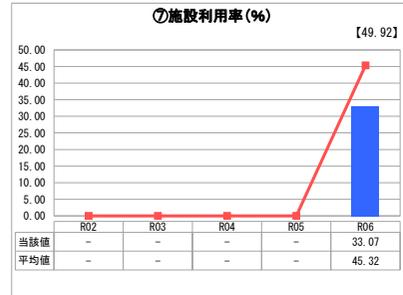
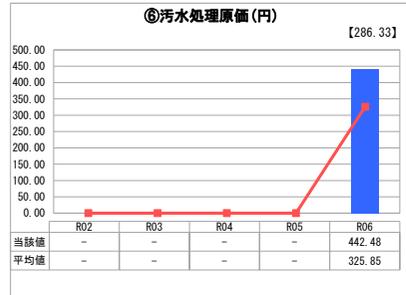
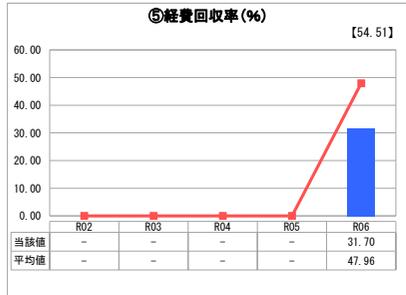
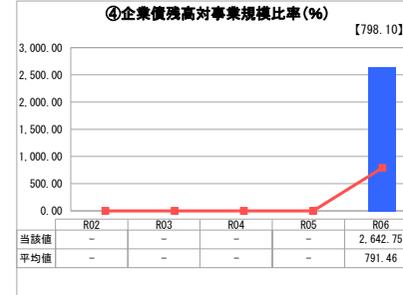
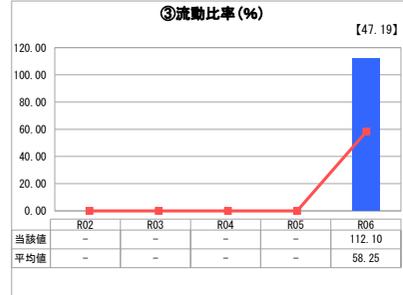
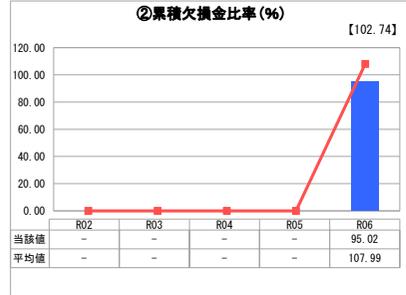
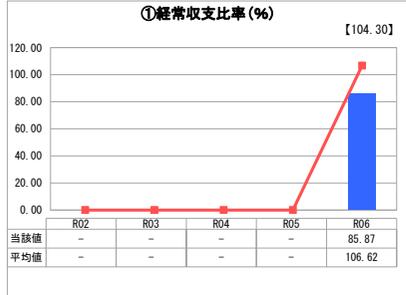
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	72.34	0.84	96.51	3,360

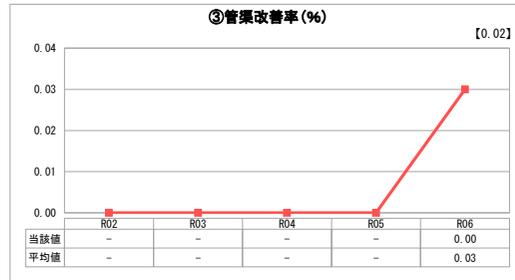
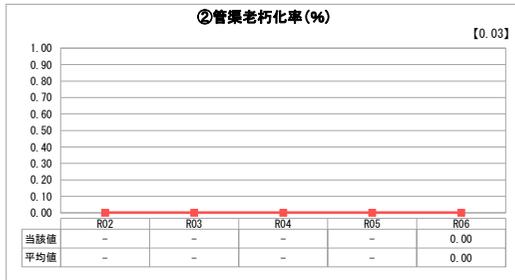
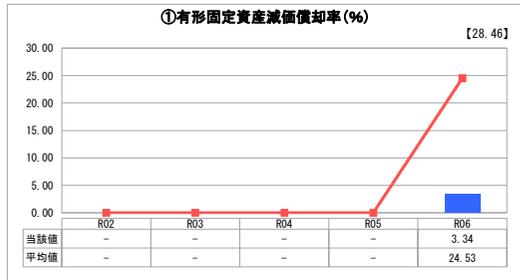
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,530	29.18	1,046.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
255	0.12	2,125.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
使用人数が減少傾向にあり、使用料収入が減少している。費用については維持管理費が過大となっている。全体的にも補助金の割合が大きいため、適正な使用料の設定や費用の削減が必要である。

② 累積欠損金比率
令和6年度から公営企業会計に移行し、損失が発生し累積欠損金となった。適正な使用料の設定や経費削減について検討する必要がある。

③ 流動比率
長期間、企業債借入が発生しなかったことから企業債償還の減少により高い水準となった。

④ 企業債残高対事業規模比率
使用料収入に対して過大な債務を抱えているため高い水準となっている。収益力強化と債務の適正管理が重要である。

⑤ 経費回収率
使用料収入の減少と、使用人数に対して過大な処理施設の維持管理費が高額であることにより、低い水準となっている。適正な使用料設定や維持管理費の削減を進める必要がある。

⑥ 汚水処理原価
使用料収入に対して処理コストが4倍以上あり、平均より高い水準になっている。費用の見直しによる持続可能な経営を目指す必要がある。

⑦ 施設利用率
人口減少により施設の処理能力が過大であるため、平均より低い水準である。経営効率の改善を図る必要がある。

⑧ 水洗化率
水洗化率向上は収益へ直接結びついため、健全な経営に向け地域住民への施設利用の啓発・推進活動へ一層取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
平均より低い水準であるが、処理施設の計画的更新を見据えた中長期的な対応が必要である。

② 管渠老朽化率
管渠工事はH16年度からの実施であり耐用年数を超える管渠は無く0%となっている。

③ 管渠改善率
更新が必要な管渠が現状ないため更新は行っており、0%となっている。

全体総括

経営状況について、高齢化や転出等による使用人数の減少に伴い使用料収益も減少している。さらに、使用人数に対して施設の維持管理費が過大であり、経営状況は厳しい状態である。使用料の適正化や維持管理費等の経費削減を継続して進めていく必要がある。

施設の老朽化などの問題については、現在は法定耐用年数内であるが、将来を見越した総合的な計画に沿った事業運営が必要となる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。